

# 診断結果

## Aタイプ

このタイプは大雨により流れ出る大量の土砂が自宅を損壊し、身体に危害が及ぶ恐れがあります。災害情報をこまめに確認し、避難情報が発令されたときにとるべき行動を右表で確認してください。また、避難時に慌てないために、普段から避難所を確認し、貴重品や食料など非常持ち出し品をまとめておきましょう。

【避難所】 ※自身で確認し記入してください  
 施設名：  
 住所：

## Bタイプ

このタイプは大雨による川の氾濫で浸水被害に合う可能性があります。台風や大雨のときは急激に川の水位が上昇するため、上表の避難情報を確認しながら、川が氾濫しそうなときは川から離れて避難してください。安全な場所に避難ができない場合は建物の2階など、より高い場所へ移動し、安全を確保しましょう。

【避難所】 ※自身で確認し記入してください  
 施設名：  
 住所：

避難情報の種類ととるべき行動など

種類	とるべき行動・発令時の状況
避難準備 ・ 高齢者等 避難開始	雨風がひどくならないうちに早めに避難を始めてください。 このあと災害が発生する危険性があります。
避難勧告	直ちに避難してください。 災害が発生する危険性が非常に高くなっています。
避難指示 (緊急)	一刻も早く自宅から離れて安全なところへ避難してください。 災害の予兆が現れたり、近くで災害が発生したりする可能性があります。

## Cタイプ

このタイプは大雨による被害は予想されないため、地域に避難情報が発令されても慌てて避難する必要はありません。近くで災害が発生し、ライフラインが断絶したときのために数日間過ごせるよう生活に必要な備えをしておきましょう。

- ▶備蓄品
- 飲料水
  - ウエットティッシュ
  - ランタン(灯り)
  - 食料品
  - 紙食器・割り箸
  - 食品ラップ
  - 消臭剤
  - トイレトペーパー
  - 簡易トイレ
  - カセットコンロ・ガスボンベ
- など

## 自宅の危険度をチェック

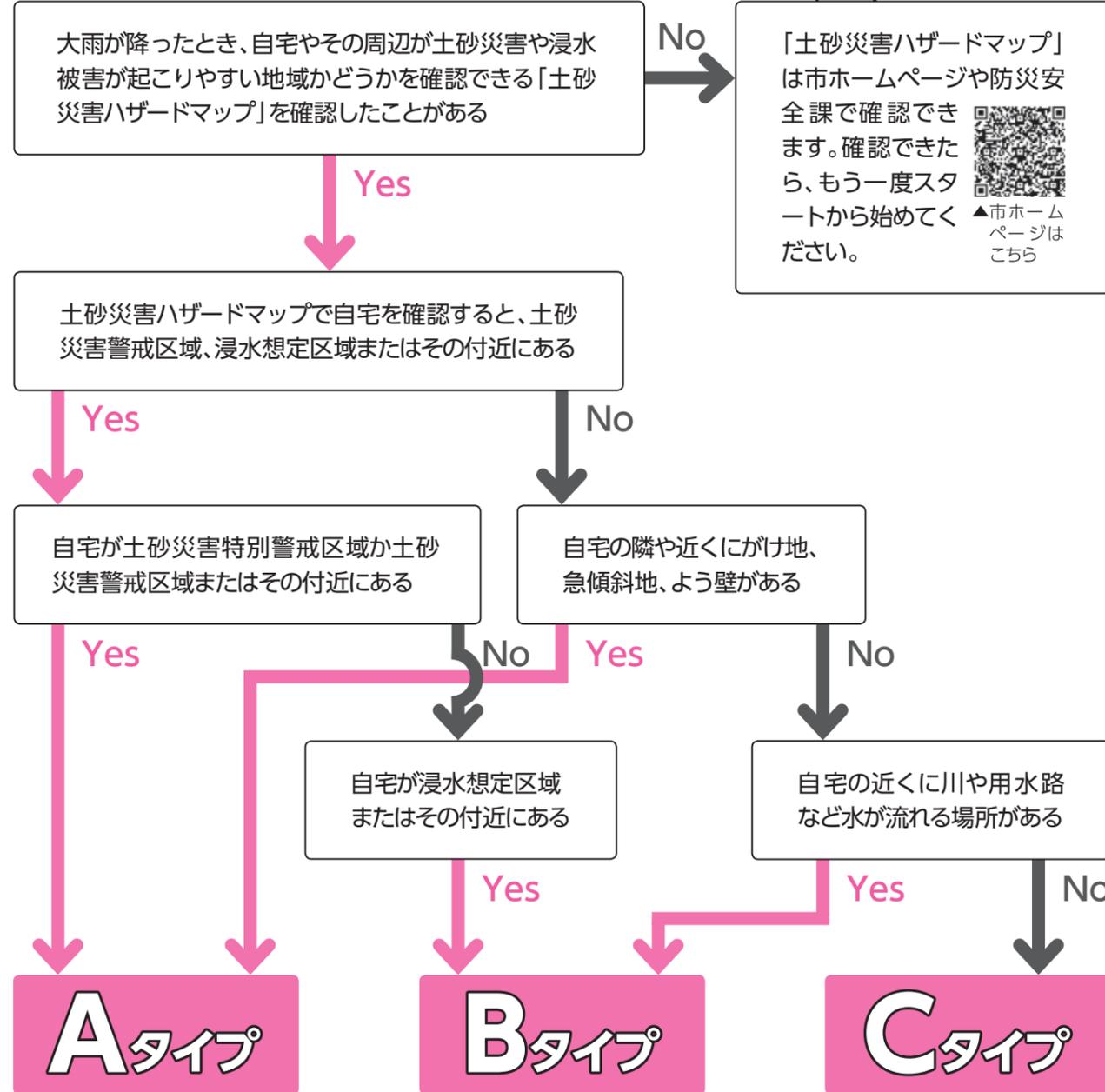
# 防災Yes・No診断

6月から10月頃は梅雨の長雨や台風の接近・上陸などによる、大雨・洪水などの水害や土砂災害が起こりやすい時期です。被害を最小限にするために、下の診断チャートを使って自宅の危険度を調べ、自分に合った災害時の行動を確認しましょう。

圏防災安全課(☎0743-74-1111、内線255)



## START



各タイプの災害時の行動を裏面でCHECK

## 災害情報の取得方法

避難情報や気象情報は、さまざまな方法で情報を取得することができます。いざというときに備えて、情報の取得方法を確認しておきましょう。  
 ▲詳しくはこちら

- 防災行政無線
- 市ホームページ
- テレビ・ラジオ
- 広報車両の呼びかけ
- ツイッター(防災いこま)
- 緊急速報メール
- 自治会連絡網
- フェイスブック(まんてんいこま)
- 生駒市緊急・災害情報メール

New  
 防災行政無線の内容が確認できる「教えてダイヤル」を始めました

災害情報をスピーカーで伝える「防災行政無線」を聞き逃したときのために、放送内容を電話で確認できるサービス「教えてダイヤル」が始まりました(通話料がかかります)。

☎050・5212・5255